

平成17年度 和歌山県名匠

【花火師】

はな び し
【花 火 師】
やぶ た ぜん すけ
藪 田 善 助

【現住所】吉備町(現:有田川町)

【生 年】昭和17年

業績及び経歴

昭和17年有田郡吉備町(現:有田川町)で生まれる。花火師の家系に生まれ、幼い頃より、父善一氏の仕事を見て育つ。中学を卒業後、三重県亀山市の伊藤煙火工業株式会社に入社し、本格的に花火師の道を歩み始める。昭和35年には父が経営する藪田煙火工場(現在の有限会社紀州煙火)で働くようになり、親子で花火製作に取り組み、父の下で修行を積むことになる。

平成元年には、亡き父の跡を継いで有限会社紀州煙火を経営することとなり、花火製作に打ち込むとともに、打上煙火と音楽を組み合わせ、コンピュータ制御で打上げるなど、新しい花火の手法を意欲的に取り入れてきた。

現在、有限会社紀州煙火は和歌山県内唯一の煙火製造事業所であり、県内の花火大会の7割近くを担当し、和歌山の夜空を彩り、観客に多くの感動を与えている。また、花火の製造から打上げまでのすべての工程を行っており、県内外を含めて年間約3万発の花火を打上げている。

平成元年より、社団法人日本煙火協会和歌山県支部支部長を務め、平成16年からは三重県支部との合併により三和支部副支部長を務める。煙火業界の発展に寄与し、打上従事者の保安教育に尽力するなど、その功績は大きい。

平成15年には、女性花火師である娘とともに和歌山県のふるさと名人紀の人賞を受賞している。

父親の藪田善一氏は、昭和55年の和歌山県名匠表彰受賞者であり、親子二代での受賞となる。